

仙台MICEおもてなしメニュー助成金制度対象 ユニークベニュー施設

区分	施設名称	施設紹介
ユニークベニュー (レセプション)	青葉山公園 仙臺緑彩館	伊達政宗公が築城した仙台城の御跡元に位置するビジターセンター。ガラス張りの交流体験ホールには青葉山公園の緑豊かな景色が広がります。和モダンな庭園で四季折々の風情を感じられる和室・聴流庵や、市指定有形文化財の茶室・残月亭では日本の文化を味わう体験もできます。
	青葉の風テラス	屋外芝生テラス、半屋外テラス、屋内スペースの3つからなる全天候型のカフェ付きイベントスペースです。地下鉄東西線国際センター駅舎の2階という抜群の立地、駐車場も隣接（有料）で大変使いやすいです。
	仙台市博物館	仙台国際センターから近い博物館は、仙台伊達家からの寄贈資料をはじめ、仙台に関する歴史・文化・美術工芸資料など約10万点を収蔵しております。「文豪常展像」をはじめとした国宝院長遠征使節関係資料など、時代を超えて受け継がれてきた文化財を特別鑑賞できる絶好の機会となります。館内のレストランやギャラリー、ロビーでのレセプションパーティや、講演会や催し物の開催には200人収容のホールをご利用いただけます。
	宮城県知事公館	諸外国の大使や貴族などをおもてなしする迎賓館として使用されているほか、結婚式やお食事会などの会場として有料で利用することができます。
	仙台うみの水柱水族館	閉館後の水族館を貸切った特別な時間を提供します。オプションでナイトドルフィンパフォーマンスやイルカのショーを追加でき、ユニークベニューなどを華やかに彩ります。普段は見ることができない幻想的な空間・時間をお楽しみください。
	仙台市天文台	口径13mの「Dとみ遠望鏡」、プラネタリウム、展示室を備えた施設としては、国内最大級のスケールを誇ります。「宇宙を身近に」をモットーに、天体観察のみならず多岐にわたる活動で人気を集めています。
	仙台文学館	100名程度収容可能な講堂を備えるほか、特徴的なエントランスロビーをレセプション会場としてご使用いただけます。屋根のある外空間利用150名程度の立食パーティーが可能です。仙台にゆかりのある作家を紹介する常設展示室も必見。
	サンモール一番町商店街通り	全長150m、道幅15mを誇る商店街。地下鉄東西線「青葉一番町駅」よりすぐの好アクセス。文化横丁、巷式参横丁には多彩な店がひしめいています。
	円通院	伊達政宗公嫡孫「光宗公」の菩提寺。日本三景松島の名庭園でのレセプションは併設飲食店もあり雨天対応のご相談も可能。国指定重要文化「院住職の説明による特別拝観メニューもご用意しています。
	国宝 瑞巖寺	日本を代表する禅寺 国宝 瑞巖寺でのレセプションは、普段経験することができない特別感を体験することができます。通常の拝観では見ることが別プランや、閉館後の貸切メニューとして特別なナイトツアーもご紹介できます。

仙台MICEおもてなしメニュー助成金制度対象 視察先

区分	施設名称	施設紹介
テクニカルビジット	3GeV高輝度放射光施設Nano Terasu	物質の機能に影響を与える電子状態の可視化が可能な世界最高レベルの研究施設です。国の主体である量子科学技術研究開発機構と、光科学イノベーションセンターを代表機関とする地域パートナーによる官民地域パートナーシップに基づいた最先端の大型研究施設であり、見学が可能です。 (事前申し込みが必要です。)
	トヨタ自動車日本工場宮城大衡工場	シエンタやジャパンタクシーなどの車両を生産する工場です。車両ボディの溶接工程や、部品を取付け完成車に仕上げている組立工程を見学することができます。また社員の知恵と工夫から生み出した工程改善の事例紹介もあり、たくさんの学びを得ることができます。
	アイリスオーヤマ㈱	国内中核工場「角田I.P（インダストリアル・テクノ・パーク）」。生産から出荷までロボットが活躍する次世代型高度省人化生産ラインを実現した最先端工場を見学いただけます。
	熊本北バイオファードリサイクル	微生物の働きで食品廃棄物から電気と肥料を創出する、環境に配慮した工場見学ができます。食品リサイクルで創出した電力相当分を排出事業者にする電力リサイクルループの仕組みや肥料利用による農業ループの資源循環について学びます。
	アマタ㈱南三陸BIO	南三陸BIO（ビオ）は2015年10月に南三陸町にて稼働開始したバイオガスプラントです。町から出る生ごみと処理汚泥などから液体肥料とバイオガス（熱と電気）を生み出しています。
	大興水産㈱	革新的省エネ推進事業で水産業界の新たなモデルケース。エネルギー管理システムや大型冷凍・冷蔵設備への真空断熱シートの導入など省エネ対策に取り組んでいます。
	杜の都バイオマス発電所	東日本大震災で大きな津波被害を受けた地域に建設された発電所です。木質バイオマス燃料を活用し、年間約5億5千万kWhの電力を発電しています。電力供給以外にも地域復興と環境活動への取り組みを学ぶことができます。
	福島ロボットテストフィールド	福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された「福島ロボットテストフィールド（RTF）」は陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点です。インフラや災害現場などの環境が再現され、ロボットの性能評価や検証訓練等ができる世界的にも類を見ない施設です。
	FCパーク ナミエナジー	福島市次世代エネルギーパーク認定施設「ふくしまいねパーク」と浪江町にあります移動式水素ステーション「ナミエナジー」が見学いただけます。再生可能エネルギー主体でつくられた水素を扱う水素ステーションは商用では日本初です。さいえねパークにはメガソーラーと学習施設が併設されており様々な再生可能エネルギーの仕組みを知ることができます。
	及源精造㈱	この地は奥州藤原時代から900年以上続く鑄物の産地。及源精造は1852年（嘉永5）創業し、鉄鍋や鉄瓶をはじめとする鉄器を作り続けて約170年。専門ガイドスタッフの解説を聞きながら、普段なかなか見ることのできない南部鉄器の製造現場を見学できます。工場に併設しているファクトリーショップでは、昔ながらの南部鉄瓶や鍋はもちろん、現代のライフスタイルでも楽しめる南部鉄器を揃えており、実物を手にとることができます。
東京屋染物店	一関市で100年以上染物衣装や半纏を自社一貫で制作している染物屋です。製品が作られている工場のご案内を致します。また、同じく一関市に京店の自社水産物や東北の工芸品などを揃えている「緑日」というお店もオープン致しました。東北の文化や暮らしを体験できるお店となっております。は染物体験もできます。こちらも合わせてお問い合わせください。	
エムテックスマツムラ㈱	超精密加工技術を中核に、半導体事業、樹脂成型事業、装置事業、自動車部品事業の4つの事業を展開しています。それぞれ独立した運営をする方々の技術を融合させた新製品開発や、高効率生産ラインを自社独自技術で構築できることを強みとしています。	
鞍山製作所	プラスチックの材質を判別する装置「ぶらしる」など環境関連機器も手掛けており、SDGsへの取組を強化しています。敷地内の太陽光パネルで自工場使用電力のピーク値である500キロワットの発電が可能。徹底した環境配慮型の現場をご覧いただけます。	
JRフーズパーク仙台あらはま（説明付き）	一年を通して8品目150品種以上の旬の菓物の積み取り体験が可能。イチゴハウスでは環境制御システムによる栽培管理、梨やリンゴ・イチゴではジョイント仕立とY字断面による栽培管理、スマート農業実証プロジェクト実証圃場での参画など、新しい農業技術を取り入れ実証しています。	
ICHIGO WORLD	世界屈指のIT技術と最新の研究成果が反映された最先端園芸農業施設。GRAの歩み・事業についてご説明します。1月から5月まではイチゴ狩りも可能。外国からの観光も大歓迎です。	
鳴子温泉もりたびの会 地域エネルギー事業視察プログラム	鳴子温泉では地域資源を活用したエネルギー事業が行われています。その一つが「VESTAプロジェクト」。地域の8割を占める森林資源を余すことなく使うカスケード利用による地域再生と、新たな産業創出、CO2排出量の削減を目指した取り組みです。視察プログラムでは「サステイナビリティ鳴子」での熱電併給システム（CHP）などについて見学できます。	
株式会社永勲染工場	創業130年、岩手県南磐前町から全国へ、主にのれん、のぼり半纏、手ぬい、襦袢掛けなどを別注でお作りしています。工場見学・染織体験などがご相談ください。	
東北電力株式会社 新仙台火力発電所	新仙台火力発電所3号系列は、CO2の排出が少ないLNGを燃料としたコンバインドサイクル発電方式を採用しています。最新鋭技術を導入し、世界最高水準となる熱効率60%超を達成しています。	
ハリウッドコミュニケーションズ株式会社	オフセット印刷の原理やカラー印刷の仕組みについて、印刷機を見学しながら学んでいただけます。また、オリジナルノートづくりを通して、冊子本のノウハウをご説明いたします。作成したオリジナルノートを持ち帰れます。	

仙台MICEおもてなしメニュー助成金制度対象 視察先

区分	施設名称	施設紹介
震災から学ぶ	震災遺構 仙台市立荒浜小学校	東日本大震災の際、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校。被災した校舎のありのままの姿や、被災直後の真実映像などから、津波の脅威を感受することができます。
	仙台市建築局南浦浄化センター	東北最大の下水処理場。東日本大震災から復旧した施設は、再度被災しないよう津波対策をはかり、太陽光発電等の創エネルギーを有した環境配慮型処理場で下水の浄化の仕組みについて見学することができます。
	せんだい3.11メモリアル交流館	震災被害や復興状況を紹介する常設展と、仙台市東部沿岸地域の暮らしや記憶など様々な視点から震災を伝える企画展で構成。ワークショップやフィールドツアーなどのイベントも開催され、震災の記憶を伝える活動拠点となっています。
	丸九松島汽船株式会社 「震災復興語り部クルーズ」	震災を風化する事なく後世に伝えていくため、震災当時の状況から復興までの道のりを松島遊覧船内でご説明いたします。日本三景・松島の湾内に桂島をはじめ多くの島々が分布し、これらが自然の防波堤となって津波の勢いを弱めたとされています。地元でしか聞けない当時の話は、今後の震災時の危機管理にも繋がります。
	ゆりあげ港朝市メイル館	カナダからの寄付を受け、現地に復興を築いたゆりあげ港朝市で、被災当時の様子をしながら、多くの命から学んだことを皆様と共有します。避難所運営について、様々な支援の持つ問題点、日頃の備えなどポイントを取ったお話も可能です。